

感染予防の徹底と認識。
新しい事に期待を
祈るチュン♪



イ ハッシャー

2022.APR

令和4年

4

No.509

編集 / 伊江村役場総務課 TEL.0980-49-2001
https://www.iejima.org/soshiki/somuka/
伊江村役場総務課 に検索!

3 学校入学式



西小学校



伊江小学校



伊江中学校



ご入学おめでとうございます!

今月号の TOPICS

- 施政方針(前半) P2~7
- 藤本涼士(伊江中2年)さんに善行賞! P8
- ~復帰50周年企画~「この碑 なんの碑 気になる碑 ♪♪」 ... P10
- 教職員見送り式、新任教職員辞令交付式 P11
- 伊江村ちゅら島づくり応援寄附 P12
- 新人さん紹介 P16

村の世帯数と人口の比較 (4月1日現在)

	昭和57年 (40年前)	平成14年 (20年前)	令和4年	先月比	3月の 出生児 数
世帯数	1,563	2,074	2,268	△ 17	
総人口	5,656	5,398	4,381	△ 50	2
男	2,793	2,721	2,235	△ 27	1
女	2,863	2,677	2,146	△ 23	1

令和4年度

施政方針前半



1 はじめに

令和4年伊江村議会3月定例会にあたり、議員各位並びに村民皆様の御健勝をお喜び申し上げますとともに、議員各位には、日頃からのご研鑽とご活躍に深く敬意を表するしだいであります。

今年も、元旦には、島の守り神である「城山御嶽」において船魂祈願と今年一年の村民の健康とご多幸並びに豊年満作と村の繁栄をお祈りいたしました。

更に、新型コロナウイルスの一日も早い収束を祈願いたしました。

今議会は、新年度の村政運営の基本となります令和4年

度予算(案)をはじめ多くの議案について審議をお願いするものですが各議案の説明に先立ち私の村政運営の基本姿勢や主要施策について、申し上げ議員各位をはじめ村民皆様のご協力とご支援をお願いするものでございます。

昨年は、長期にわたる新型コロナウイルス感染症防止対策をはじめ村政各般にわたり格別なるご協力とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

又、4月の村長選において、無投票当選という信任を頂き引き続き3期目の村政を担うことができ、村民の負託に応えるべく決意も新たに村政運営に誠心誠意、全精力を傾注し取り組んでいるところであります。

さて、昨年を顧みますと、コロナ禍のなかの東京オリンピック・パラリンピックでは、日本人選手の活躍とアスリートの限界への挑戦する姿に世界中が熱狂と興奮そして感動を分かちあいました。

一方、新型コロナウイルスは世界中で猛威を振るい、その感染防止対策として新しい生活様式、働き方、価値観に至るまで様々な変化が求められた年でもありました。

本村でも、伊江島一周マラソンやゆり祭りをはじめ多くの行事やスポーツ大会等が中止や延期を余儀なくされました。

又、一時鎮静化していた新型コロナウイルスは、昨年12

月からオミクロン株による感染が急速に拡大し第6波の流行期に入り、沖縄県全域に蔓延防止重点措置が発出される事態になりました。

本村でも、今年に入り70名余の感染者が出る憂慮すべき状況を踏まえ更なる感染防止対策の徹底に取り組む所存です。今後とも、村民皆様への感染防止対策へのご協力を切にお願い申し上げます。

このように、これまで経験したことのない未曾有の社会経済状況は、本村にも影響し観光産業を皮切りに商業、農漁業にまで多大な損失を与え、その緊急支援策を累次にわたり国・県事業や単独事業により実施してきたところでです。

今年も、コロナ対策を最優先課題として、コロナ禍から健康と命を守り、安全・安心な生活の維持に向けたきめ細やかな支援を行うとともに、感染防止策を講じながら社会経済活動の回復を図るための実効性のある支援策を的確・迅速に実施できるように全力で取り組んでまいります。

また、小笠原諸島近海の海底火山に起因した軽石が沖縄地方に漂流・漂着し水産業や観光業、離島航路運航に大きな被害が生じるなどの問題に見舞われました。

村においても海岸・海浜等に漂着したことによる環境悪化や本部港への漂着によるフェリーの欠航が相次ぎ、村



民や利用者に支障を来しました。

このようなことを踏まえ離島三村と本部町で本部港に新たな船尾岸整備やエキスポ港整備等について迅速な対策を講じるよう沖縄県に要請したところであります。

今年度も、ソフト・ハード

両面において各施策の着実な実施に向けて、国・県の補助金等を活用し産業振興・医療福祉の充実・教育文化の振興並びに道路・住宅・港湾・生活環境・下水道等の社会インフラの整備を図り村の発展と村民の豊かな暮らしや福祉の向上に取り組み、更に住みよい豊かで魅力に満ちた伊江島づくりに邁進してまいります。

これまで、優先施策と位置づけ推進してきた総合運動公園整備事業も今年度には屋内体育施設・プール施設も完成し社会体育の更なる充実と健康増進更には既設の野球場・多目的屋内運動場との一体的な活用によるスポーツコンベンションの推進及びスポーツアカデミー構想等を検討し、観光振興、地域経済の活性化を図ってまいります。

昨年は、東京都豊島区と伊江村が「ゆたしやる島交流宣言」を締結した記念すべき年となり、産業・文化芸能・教

育における豊島区民と村民との相互交流を通じた友好と絆の輪を広げ、豊かで良い社会、ゆたしやる社会の実現に向けて相互に発展することを確認いたしました。



今後、精力的に活動し交流を深めてまいりたいと考えております。

今年、5月15日、沖縄は本土復帰50周年を迎えます。

この大きな節目に、村出身者として復帰運動に尽力され

「復帰男」と称された古堅宗憲氏を偲ぶとともに、村の戦後復興から復帰を挟んで今日までの歴史と足跡、さらには先達の思いを次世代に受け継いでいくため、これまでの歴史や文化を振り返りつつ、未来に繋げていけるよう取り組みます。

また、第7回世界のウチナンチュ大会の開催を機に、世界各地で活躍するイメージマンチュの皆さんを歓迎し異国でのご苦労をねぎらい更なる活躍を願う交流会を開催いたします。

交流を通しイメージマンチュの絆をより強固にするとともに国際交流の促進と国際人として活躍する人材育成に取り組んでまいります。

国内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されたから2年が経過し3年目を迎えた今日でもオミクロン株による感染が収まらない状況にあります。

その対策として、国による3回目のワクチン接種が前倒

しされたことを踏まえ、村民への3回目の追加接種が早期に実施できる体制を構築し進めているところです。

しかしながら、人類が経験したことのないコロナ禍の現状は、当面続くものと予測され、私たちが行う全ての社会経済活動の判断基準となり、村政においても、当然のことながらその観点からの運営が求められております。

コロナ対策を最優先課題として感染防止対策の徹底と経済回復の両立を目指す各施策を臨機応変に展開しつつ、



「伊江村第5次総合計画」に盛り込まれた諸事務・事業を着実に実施し山積する諸課題解決に全力で取り組み村の将来像「自然豊かな環境で誇りを持って、みんなが協働し、活気あふれる村」の実現に向け職員と共に勇往邁進してまいります。

2 基本的な考え方

私は、就任以来、時代の趨勢を的確に捉え村の歩みと歴史を築いてこられた歴代の為政者や先輩諸氏の「村民本位」、「公明正大」を村政運営の心としてこれまで村民の豊かな暮らしと福祉の向上並びに村の伸長発展に務めてまいりました。

さらには、「融和」、「勤労」、「躍進」を旗印に平和で活力に満ち、村民が心豊かに暮らせる村と公正で民主的な村民本位の村政の確立」を基本姿勢に村政運営に臨んでまいります。

これからの地域経営の指針となる「伊江村第5次総合計画」に盛り込まれた諸施策を選択と集中により推進するとともに、将来にわたり財政規律を堅持することが求められております。

「第5次伊江村行政改革大綱」に基づく実施計画の着実な実施により開かれた行政の推進と効率的な行政システムの確立等を目指し、令和4年度に課の改変と業務の見直し等を行い良質で充実した住民サービスの提供と次の世代に繋がる改革に取り組んでまいります。

また、令和3年9月に国においてデジタル庁が創設され、国全体のデジタル化に積極的に取り組むとされており、本村においても、村民に身近な行政サービスを提供する基礎自治体として、時機を逸することなく、村民サービスの向上、業務の効率化、さらには行政手続きのオンライン化をはじめ、ICT化やデジタル化を迅速に進めてまい

ります。

予算編成にあたっては、先ず「入りを量りて出づるを為す」を基本にコロナ禍における税収の落ち込みを考慮しつつ自主財源の確保に一層努めるとともに義務的経費を少しでも抑え投資的経費に振り向けるなど、柔軟で実効性のあるある編成に腐心した予算になったものと考えます。

本予算の執行には、「最小の経費で最大の効果を図る」という地方自治の本旨を基本に、「第5次伊江村総合計画」に掲げる

「地域の魅力を活かして働き続けられる村」

「自ら学ぶことを楽しみ、地域で学びあう村」

「心も体も健やかに、誰もがいきいきと暮らせる村」

「持続可能な暮らしで島の魅力を未来にひきつぐ村」

「資源を活かし暮らしの安全と快適を守る村」

「村民の自律した活動と行政の連携で公共を支える村」

して各分野において主要施策を推進してまいります。

3 主要施策について

(1) 農林水産業の振興について

ここ数年、花き、葉たばこ、肉用牛の主要品目を中心に、40億円を超えて推移していた農業生産額は、36億2千万円と前年度比較4億円の減額となりました。

長引く、コロナ禍と感染防止対策により社会経済活動が停滞し、農水産物の消費、物流に大きな影響をもたらした販売額が大幅に減少した大変厳しい1年でありました。

現下の情勢も、先行きがなかなか見通せない不透明な状況が続くものと考えますが、農漁業者がしっかりと足を据えて仕事に専念できるように支援するとともに、担い手の確保育成を図るべく農業次世代人材投資事業等を引き続き実施します。

また、人・農地プラン実質化の取り組みにより、概ね5年から10年後の農地の状況が確認できるよう農地情報システムの活用を図り、村民へ農地情報を公開し担い手農家への農地の流動化を効率的に推進します。

堆肥センターについては、自走式攪拌機等を導入し、堆肥の回収量及び生産量の増量を図り、土づくりを基本とした循環型農業の推進と経営改善に取り組みます。

さとうきびについては、これまで導入したハーベスターや精脱葉施設の整備等による機械化・省力化により農家の負担軽減が図られ、さらに黒糖工場の季節雇用者等の宿泊施設の完成で安定的な雇用人員の確保が行われております。

今後もしさとうきび生産組合及び関係機関と連携を図り、持続的・安定的な生産振興に努めてまいります。

「水あり農業」の推進については、かんがい排水事業の

未整備地区の整備を推進しながら、完了地区から順次、安定した農業用水を供給し農業生産の向上と農業経営安定を図るため、伊江土地改良区と連携し農業用水の有効活用に取り組みます。

また、台風等の強風及び豪雨による被害軽減を図るため、農地保全整備事業を推進し、溜池・海岸への赤土流出を抑え環境保全に努めます。

畜産業については、コロナ禍による国産枝肉の下落や流通量の低迷等の課題もあり、販売額が減少したものの、11億円を超えたことは、生産者をはじめJAおきなわや多くの関係者の取り組みのお陰であり感謝を申し上げます。

一方で、長年の懸案事項であった生産者の高齢化、担い手不足に歯止めをかけ持続的な畜産経営と更なる畜産振興に向け「預託制度」を導入した「畜産総合施設」の整備も順調に進捗しており令和5年の供用開始に向け施設運営管

理や利用料金等について関係団体との協議を進めてまいります。

また、10月に鹿児島県霧島市で開催される「第12回全国和牛能力共進会」へ、村から県代表牛として出場出来るよう和牛改良組合、JAおきなわと連携し取り組んでまいります。

公共用水域への水質保全や集落におけるし尿や生活雑排水等の汚水処理し農村生活環境の改善を図る農業集落排水事業を推進中であり、管路敷設工事を引き続き行います。

林業については、城山の造林事業をはじめ保育事業やデイゴヒメコバチ保全防除事業を継続するとともに、「防風林の日」関連行事として県植樹大会を伊江村にて開催する予定です。

水産業では、これまで、実証事業を行ってきた海藻類（スジアオノリ）の陸上養殖施設を北部振興事業で整備し、新たな水産加工品の生

産・販売に取り組めます。

また、昨年度から引き続き、漁船の購入や漁船のエンジン、航行機器等の更新を支援し漁業者が安全・安心に漁業生産活動が行える環境づくりに伊江漁協と連携し取り組みます。

(2) 商工観光業の振興について

新型コロナウイルス感染症拡大を受けた特措法に基づく緊急事態・蔓延防止等による社会活動の制限期間は令和3年で243日にも及び村の商工観光業は大きな打撃を受けました。

この状況を踏まえ、国、県事業と単独事業で10事業の支援を実施しております。

今年度も、国、県の支援策等の周知を図りつつ村単独事業も交え的確かつ効果的に支援策を引き続き行ってまいります。

伊江島一周マラソン大会は、「伊江島一周マラソン2022」として開催する準備を進めておりましたが、今

年に入ってからからの感染急拡大の状況を考慮し、やむなく中止と決定しました。

伊江島ゆり祭りについては、開催する方向で令和4年度予算を計上しております。

3年ぶりの祭り開催に向け、感染防止対策を徹底し、実行委員会や関係団体と連携して取り組んでまいります。

本村への観光入域客は長引くコロナ禍の影響により、減少傾向が続いています。

コロナ収束後の民泊事業、一般観光業の回復へ向けて関係団体等と協議し、しっかりと取り組んでまいります。

商工業は、地域経済を支える地場産業として、地域活性化や雇用の面で大きな役割を果たしています。

引き続き「プレミアム付き商品券事業」を実施する商工会と連携し、消費拡大を図ってまいります。

(3) 教育文化の振興と生涯学習の推進について

教育においては、「伊江村第5次総合計画」及び「第2期伊江村教育大綱」に掲げる教育の目標に向けた、新たな10年の教育ビジョンとなる「伊江村教育振興基本計画」を策定し、学校教育及び社会教育の充実を図るため各施策を推進してまいります。

学校教育においては、「学びの保障」を確保するため、ICT機器や学習教材ソフトを活用し、休校時や長期休業中におけるオンライン学習などの環境整備に取り組んでまいります。

学習支援では、小学校に学習支援教諭、中学校に非常勤講師の配置や2名のALT（外国語指導助手）により、英語教育の充実を図ります。

また、各種検定補助や塾料補助により「確かな学力」の定着を支援してまいります。

昨年度の文部科学大臣賞を受賞したキャリア教育では、就業意識向上支援事業や国際交流により、ふるさとを学び、世界を知り、将来を考える「島建ちの教育」を推進してまいります。

就学支援では、離島高校生修学支援事業や村人材育成会による入学準備資金貸付及び奨学資金貸与事業により学びの支援を行ってまいります。

教育環境の整備では、西小ブロック塀改修工事、伊江中学校教員宿舎整備工事を実施いたします。

社会教育については、コロナ禍で活動自粛を余儀なくされた子ども会をはじめとする各種団体の育成や活動の充実、民俗芸能発表会等の文化行事においては、地域に活力を与えられるよう取り組んでまいります。

また村民が自発的に元気で楽しく文化活動を実践し、生涯にわたって生き甲斐をもって充実した生活が送れる

よう、伊江村文化協会による第1回村文化祭の開催や各種団体の活動を支援してまいります。

「沖繩本土復帰50年」の取り組みとして、学校や地域で島の戦後復興から本土復帰を経た歴史や文化等の足跡に触れ、学び、次世代へとつないでいくために、写真展や学習発表会での偉人劇など様々な行事をおこなってまいります。

名誉村民の生塩睦子先生が、長年にわたる方言調査・普及活動が認められ、昨年度に沖繩県の文化功労者表彰を受賞いたしました。

引き続き生塩先生には、「民話集第4集」や「イージマグチ練習帳」の編さんに、ご尽力を頂きながら「しまくとうばの日」のイベント開催など方言の普及に努めてまいります。

「伊江島考察史現代語訳版」は、平成23年度から編さんに取り組み昨年度に刊行いたしました。

これまで永きにわたり、ご協力を頂きました編さん委員や関係者の方々に敬意と感謝を申し上げますとともに、考察史の周知と普及を図ってまいります。

社会体育では、令和3年度に屋内体育施設が完成し、4月末の供用開始を予定しております。

屋内体育施設には、体育館とプール、トレーニングジム、新たにサウナ室も完備されており、スポーツやレクリエーションなどに幅広い世代が利用し、健康増進や生きがいづくりが更に進展するよう取り組んでまいります。

また、スポーツコンベンションの推進については、サブグラウンドを整備し、野球合宿等の環境について機能強化を図るとともに、屋内体育施設を活用した合宿等の誘致についても体制を強化し取り組んでまいります。

学校給食では、常に安全・安心で美味しい給食を提供するため、食物アレルギー対



応給食の提供や地産地消を推進して、子どもたちの健やかな成長と食育の向上を図ります。

また、給食費の負担軽減については、幼稚園の2/3、小・中学校の半額助成と、第3子以降の全額免除を継続して実施します。

(4)住民福祉の向上と保険制度について

誰もが、住み慣れた地域で、安心して暮らせることは、幸せなことであり、住民相互扶助の精神の涵養に合わせ行政の支援などきめ細やかな福祉サービスが求められております。

老人福祉では、老人クラブ連合会が主催する各種行事の支援やシニアカー購入事業、タクシー利用料助成を引き続き行い、健康で働く意欲のあるシルバー人材を活用するとともに、生きがいづくりを推進します。

障がい者福祉では、グループホームの設置につい

て、村内障害福祉利用者向けの体験グループホームの機会をつくる等、引き続き調査研究を進めてまいります。

また、障害者総合支援法に基づき、障がい者自ら、サービスを選択できる利用者本位のサービス提供に向けて引き続き制度の円滑な運用を図ります。

児童福祉では、村立保育所と村認可保育園で連携し、待機児童の解消を図るとともに、子育て支援センターにて育児不安への相談指導、サークルの育成・支援等の業務を行い、地域全体で子育てを支援する体制の強化に努めます。

併せて、引き続き貧困世帯等の負担軽減に取り組みます。

戦跡等に関する取り組みでは、先の大戦による、村内の戦跡や戦争記念碑等の保存に向けた環境整備を継続推進し、芳魂之塔平和祈願祭、LCT爆破慰霊祭の開催に向けて取り組みます。



また、終戦合意文書締結の際、大きな役割を果たした緑十字機が伊江島飛行場を經由した出来事を「伊江島緑十字機を語る会」及び「静岡県磐田市ミドリ十字機を語る会」と連携して緑十字機の史実が社会に広まるよう努めます。

国民健康保険特別会計の当初予算は、一般会計から1千万円、国民健康保険基金から2千5百万円を繰入

し、保険税率を据え置いた予算編成となっております。

国保特別会計は、令和6年度までに決算補填による一般会計からの法定外繰入金を削減することが求められており、併せて、沖縄県国保運営方針のもと令和6年度からの保険税統一を目指すとしておりますが、全市町村の合意形成を得るまでの課題が多く、協議の動向を注視し税率改定などは、慎重に対応してまいります。

多様化する介護需要や保健事業へ対応するため、村社協、介護サービス事業所と連携し、住み慣れた地域で、質の高い介護サービスが受けられる体制づくりに努めます。

また、コロナ禍で停滞した介護予防事業の活性化を図り、村民の意識高揚に取り組みます。

介護保険においては、第9期介護保険事業計画（令和6年度から令和8年度）からの均一課税の実施方針が決定さ

れ、介護保険広域連合と構成市町村とともに均一保険料に向けた取り組みを進めてまいります。

後期高齢者医療保険においては、団塊の世代が加入を迎える令和7年と高齢者数がピークを迎える令和22年を見据え、広域連合は、「高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施」を令和6年度までに全市町村へ委託するとしています。

本村は、令和5年度からの実施を目指し、広域連合と連携しつつ包括支援センターの充実を含めた体制を整備し、高齢者が健康で生きがいを持って暮らせるよう取り組みます。

国民年金は、村民の老後の生活を支える大切な収入であります。

自らの老後の生活を不安なく過ごせるよう、日本年金機構と連携し窓口業務や相談業務など適切に業務を遂行してまいります。

お知らせ

令和4年度施政方針主要作の後半は左記の通りでありイーハツチャール5月号に分けて掲載いたします。

3. 主要施策について
 - (5) 医療の確保と保健の充実について
 - (6) 自然保護と生活環境整備について
 - (7) 道路・住宅等の住環境整備について
 - (8) 移住・定住施策の推進について
 - (9) 防災行政について
 - (10) 公営企業等の充実について
 - (11) 伊江島空港の利活用について
 - (12) 基地行政について
4. 県営事業について
5. 予算概要について
6. 終わりに

ありがとうございました



島の子どもたちを
第一に

東江昇さん 京子さん 大変お疲れさまでした

伊江の給食支えた55年その歴史に幕

昭和41年から伊江製パンで米飯とパンを学校給食に提供してきた東江昇さんと京子さん夫婦が3月16日、学校給食の米飯提供を最後に、55年にわたる業務を終了しました。

昇さんは当初、県外企業の面接を受け、就職内定の連絡を受けるまでの間、京子さんの父の手伝いで、伊江製パンで働いたのが始まりでした。

昭和51年から米飯の提供も開始し、多い時には1,000人以上の児童・生徒が在籍していたこともありました。

給食のある日は毎朝5時からごはんを炊き、各学校に届けていました。55年もの間、提供できなかった日が一度も無く「島の子どもたちを第一に」と、ご飯やパンを提供し続けてきました。

最終日となった当日は、中学校においてセレモニーが行われ、生徒代表の内間大惺さん(2年生)が昇さんに感謝の言葉を述べ、花束を贈りました。昇さんは「食の大切さを認識し、健康になって勉強にスポーツに励んで欲しい」と生徒たちに語り、趣味のハーモニカを披露しました。また、各小学校からもお礼の色紙や花束が贈られました。

※ 令和4年度からの学校給食への米飯提供は、山城豆腐店からとなりますので、よろしくお願いいたします。



伊江中学校3年生の藤本涼士さんがこのほど、国頭地区退職校長会の善行賞を受賞しました。3月25日、伊江中にて、藤本さんに賞状と記念品の盾を贈られました。

藤本さんは小学校5年生から相撲を始め、相撲の技以外に規律や礼儀を体得し、常に周りの調和や気を配った言動でリーダーとして貢献しました。また、人一倍の責任感や使命感で学校行事に率先して取り組み、あいさつ運動では誰よりも大きな声で声掛けするなど学校の中心として活動したことが評価されました。

藤本さんは「これからも切磋琢磨し、次の目標に向かって頑張りたい」と語りました。

昨年11月に行われた県退職校長会が主催する善行児童生徒表彰式でも表彰され、ダブル受賞に輝きました。

善行賞で表彰された伊江中3年の藤本涼士さん(左から3人目)



藤本 涼士さん

(伊江中学校3年生)

国頭地区退職校長会

表彰

善行賞



先生、行ってらっしゃ〜い!



離任される先生方を見送りました

村内の3小中学校での勤務を終え、本島内の学校へ赴任する教職員らが25日、新任地に向け島を後にしました。離任する教職員やその家族らを見送ろうと、伊江港には児童生徒や保護者、地域住民が大勢詰め掛け、花束や記念品などを手渡し、涙を払いながら別れを惜しみました。

33年間の教員生活に幕を下ろし退職を迎えた西小の宮城康人校長は「最高にかわいい子どもたちと夢のような時間を過ごすことができた。地域、保護者の皆さんに支えられ、3年間、幸せな時間を過ごせたことに感謝している」と話しました。

フェリーが岸壁から離れると、港内には長い汽笛が鳴り響き、児童らは「先生方ありがとう」「感謝」「行ってらっしゃい」などと書かれた横断幕を持ち、互いに姿が見えなくなるまで手を振り続けました。



新任教職員辞令交付式

令和4年度新任教職員辞令交付式及び研修会が4月4日に、改善センターホールで開催され、新たに赴任した教職員19人が参加しました。

内間常喜教育長は「地域の中の学校、開かれた学校を推進するため、村民の一人として地域行事に積極的に参加して伊江島の風土と文化を感じて下さい」と激励しました。

新任教職員を代表して伊江中学校に赴任した西康勝教頭先生は「学校から眺める風景は「沖縄一」と称される伊江中学校に赴任することができ感慨無量です。我々新任教職員は一日も早く「チーム伊江島」の一員となり、学校の戦力になれるよう尽力して参ります。」と挨拶しました。

辞令交付式後の研修会では、新任教職員を対象に「島建ちの教育」等、島での取り組みについて説明が行われました。



村青年会定期総会が開催されました!



村青年会の第78回定期総会が4月14日、改善センターホールで開かれ、任期を終えた山城孝和会長から亀里大樹さん(前列中央)へ青年会長のバトンが渡されました。

亀里会長は「厳しい情勢の中ではありますが、青年会の皆で、協力しあい、助け合い、精一杯頑張っていきたいと思います。」と決意のあいさつをしました。

総会には内間常喜教育長らが出席し、令和3年度の収支決算や令和4年度の事業計画、新役員など5議案が承認され新体制のスタートを切りました。

復帰
50周年
企画

この碑 なんの碑 気になる碑

沖縄の本土復帰50周年を迎えるにあたり、当時の伊江島の様子や人物などをシリーズで紹介します。

第三回は、「沖縄の教育及び産業の振興に尽くし、歌人としても活躍した」島袋俊一氏です

島袋俊一氏は、1902(明治35)年、伊江村に生まれ、鹿児島高等農林学校(現鹿児島大学)を卒業後、1937(昭和12)年に35歳の若さで県立八重山農学校(現八重山農林高校)の初代校長として迎えられ、戦後は「沖縄の復興は人づくりから」との信念のもと文教学校の設立に奔走しました。

1950(昭和25)年には、琉球大学の設立に伴い教授となり、沖縄初の農学博士の学位を取得。その研究は沖縄の農業振興に大きく寄与しています。

1964(昭和39)年に、琉球大学第5代学長に就任し、琉球大学の政府移管や医学部、大学院の新設などの大きな計画に尽力される中、1965(昭和40)年9月17日に任期半ばで急逝なされました。

また、島袋氏は小林寂鳥の雅号で歌人としても知られ、兄の名嘉元浪村、江島寂潮とともに「伊江島の歌人3兄弟」で知られています。

郷土愛が強く、常に故郷伊江島に思いを馳せ、数多くの作品の中には「濃き山も あたりに生うる緑葉も その座を占めて 海と照りあう」の秀歌があり、城山中腹に歌碑が建立されています。

伊江中学校では毎年、島袋氏の生誕の日に集会を開いてその遺徳を偲んでいます。



伊江中学校の中庭に設置された、島袋俊一氏の胸像。



城山中腹に建立された歌碑

ナガラ原 第三貝塚 ①

いえじまの文化財 第24回

伊江村の南海岸には、いくつもの遺跡が連なっています。ナガラ原第三貝塚もそのうちのひとつで、川平ナガラ原にあります。

遺跡が発見された当初は弥生時代頃の遺跡と考えられていましたが、2013年の調査の際に、弥生時代並行期(約1,600年前)・縄文時代晩期(約2,500年前)・縄文時代後期(約3,500年前)の三つの時代にまたがる遺跡であることが分かりました。

弥生時代の層からは貝塚の他、イモガイを集めた跡も見つかりました。イモガイなど南島産の貝は九州をはじめとする地域で珍重され、有力者が持つ装飾品の材料となりました。イモガイを集めた跡は、交易用の貝を集めた跡ではないかと言われています。村内の他の遺跡でもイモガイなどの貝を集めた跡が見つかることから、弥生時代並行期の伊江島は、九州との交易拠点の一つであったのかもしれませんが。



ナガラ原第三貝塚で見つかったイモガイを集めた跡。村内では具志原貝塚でも見つかっていません。



伊江村役場 機構改革について!



伊江村第5次総合計画に掲げる将来像

「自然豊かな環境で 誇りを持って、みんなが協働し、活気あふれる村」を目指す為、令和4年4月1日付けで、伊江村役場及び伊江村教育委員会内部における機構改革を行いました。

将来像実現に向けて村長が掲げる各施策について、より一層推進することから平成23年度から設置していましたが「政策調整室」を「企画課」と変更し、これに伴って、企画課以外の課における事務分掌を整理・明確化しました。

また、教育委員会のB&G海洋センターは、総合体育館のオープンに伴い「スポーツ推進室」に名称が変わりました。

機構改革のポイント

- ・ 村長部局において8課、1室であった組織を9課に再編。
- ・ これまで総務課で担当していた広報、統計、情報通信及び移住定住に関する業務を「企画課」へ移管。
- ・ 伊江島空港再開に向けた調査業務
- ・ スポーツコンベンションの推進
- ・ 行政手続きのデジタル化の推進 等
- ・ その他の課における各業務分掌の明確化を図り、各事業を推進。
- ・ 教育委員会にスポーツ推進室を設置し、社会体育やスポーツコンベンションを推進。



役場退職者見送式

伊江村役場職員として住民サービスの向上に努めた(写真前列右から)垣迫紀子さん、亀里裕治さん、宮城弘和さん、東江民雄さん、大城武春さん、光永果寿紀さん、上原俊郎さん、新里智さんの8名が、3月31日付けで定年・普通退職をしました。

役場の玄関前には、職員や家族らが出迎え、花道の中を歩く退職者を拍手で見送りました。



伊江村ちゅら島づくり応援寄附 ～ふるさと納税～

令和3年度のふるさと納税として1,551件(寄附合計 ¥30,664,000)のご寄附をいただきました。『伊江村ちゅら島づくり応援寄附』の取組みに対しまして、ご理解とご支援に心より感謝いたします。皆様からお寄せいただきましたご寄附は、ご厚志に沿って有効に活用させていただきます。

令和3年度ちゅら島応援寄附一覧表

(令和4年3月31日現在)

寄附月	寄附件数	寄附金額	寄附月	寄附件数	寄附金額
令和3年4月	50件	855,000円	令和3年10月	152件	4,209,000円
令和3年5月	69件	1,194,000円	令和3年11月	192件	4,606,000円
令和3年6月	71件	1,277,000円	令和3年12月	590件	12,108,000円
令和3年7月	40件	692,000円	令和4年1月	172件	2,102,000円
令和3年8月	40件	784,000円	令和4年2月	63件	886,000円
令和3年9月	52件	992,000円	令和4年3月	60件	959,000円
合 計				1,551件	30,664,000円

使 途 別	年間件数	金 額
伝統芸能並びに地域文化の継承及び育成に関する事業	184件	3,432,000円
特産品の育成及び地域産業の振興に関する事業	234件	4,774,000円
自然環境並びに地域景観の保全及び活用に関する事業	335件	5,812,000円
村民の健康増進及び福祉の向上に関する事業	148件	2,886,000円
教育、青少年の健全育成、スポーツ活動の充実に関する事業	292件	5,222,000円
その他目的達成のために村長が必要と認める事業	358件	8,538,000円
計	1,551件	30,664,000円

Q&A ※ふるさと納税とは…？

ふるさと納税制度とは、「ふるさとに貢献したい」「ふるさとを応援したい」という温かい思いを実現するために、出身地など、自分が貢献したいと思う都道府県・市町村などへ寄附を行った場合、住民税・所得税から一部の控除を受ける制度です。お問合せは、[役場総務課\(電話49-2001\)](tel:49-2001)もしくは[伊江村ホームページ\(https://www.iejima.org/\)](https://www.iejima.org/)をご覧ください。



伊江村役場庁舎管理人(夜間宿直)を募集します!



募集概要

- ・募集人数:若干名
- ・給 与:日額 7,000円
- ・勤務場所/伊江村役場庁舎内
- ・資格要件/普通自動車免許
- ・勤務時間/午後5時15分～翌朝午前8時30分(シフト制)
午後7時～午後8時 1時間休憩あり
土・日・祝祭日・年末年始勤務有

主な業務内容

- ・庁舎の施設管理、戸締り等
- ・救急搬送に関する事
- ・電話及び来客の応対、各種届出の受付
- ・その他指示する事

※村指定履歴書を提出、内定後に健康診断書を提出していただきます。
村指定履歴書は、伊江村ホームページ及び総務課にて取扱っております。

詳しいお問合せは 伊江村役場 総務課 ☎49-2001

令和4年度

会計年度任用職員(パートタイム)の募集について

令和4年度の会計年度任用職員を必要とする職種について、追加募集を行います。

募集職種:一般事務補助(若干名)

- 1.報酬:日額6,300円※
- 2.勤務時間:週5日(午前8時30分～午後4時30分)
- 3.社会保険・雇用保険あり
- 4.任用期間:1年以内

※給与改定により報酬額の変動になる場合があります。また、会計年度任用職員の経験年数により日額の加算制度有り。

詳しいお問合せは 伊江村ホームページ若しくは総務課 ☎49-2001

農作業車で道路を走行する際の注意事項

畑等での農作業においてトラクターを使用し、畑外へ出る際に機械から落ちる土で道路が汚れている箇所が度々見受けられます。作業後は、畑内でトラクターに付着した土や泥を落としてから、畑外を走行するようお願いします。また、作業用車両で運搬する草木や堆肥等についても、道路へ落下しないよう対策を行った上で処分場等へ運搬し廃棄していただきますようお願いいたします。道路に落ちた土や泥、草木や堆肥等は、自動車だけでなくバイクや自転車などの通行の妨げとなり大変危険で、景観にも良くありません。やむを得ず道路を汚してしまった場合は、道路利用者が安全で快適に通行できるように速やかに撤去・清掃を行い、交通安全と環境美化に努めていただきますようご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



詳しいお問合せは 伊江村役場 農林水産課 ☎49-3161



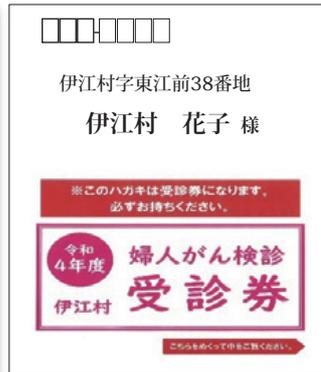
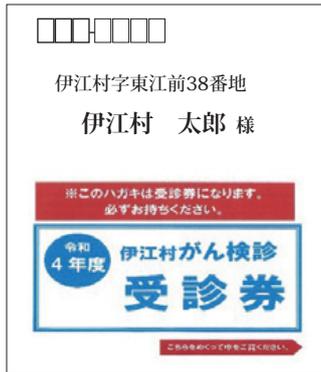
令和4年度 がん検診受診券について

平成30年度より、がん検診の対象年齢となる40歳から74歳以下の方へ、「がん検診受診券」の個別案内通知を行ってきましたが、国のがん検診の指針の変更に伴い、伊江村では令和4年度より、「がん検診推奨年齢の方」へ、がん検診受診券を送付します。

なお、70歳以上の方も受診可能です（自己負担額も同じ）。

【令和4年度がん検診受診券】※5月頃の発送となります。

【がん検診個別案内通知の対象年齢】



がんの種類	対象年齢
胃がん検診	40～69歳までの村民
肺がん検診	
大腸がん検診	
子宮がん検診	20～69歳までの女性 (令和4年度に偶数年齢になる方)
乳がん検診	30～69歳までの女性 (令和4年度に偶数年齢になる方)

詳しいお問合せは 医療保健課まで ☎49-5000

令和4年7月
スタート!

沖縄県 ちゅらパーキング(障害者用等の駐車区画) 利用証制度が開始します!

「ちゅらパーキング利用証制度とは」

公共施設や商業施設、店舗などに設置されている障害者用等の駐車区画を適正にご利用いただくために、障害のある人、高齢者、妊産婦などのうち、歩行が困難な方、移動の際に特別な配慮が必要な方に、共通の「利用証」を交付する制度です。

利用証の交付を希望される方は、伊江村役場福祉課にて申請をお願いします。

詳しい対象者につきましては、申請に来る前に福祉課までお電話にてお問い合わせください。

利用証は3種類あります。



車いす使用者



その他の障害者、
高齢者など



妊産婦、一時的な
けが人など

この案内表示のある駐車区画が利用できます。



車いす使用者
優先区画



プラスワン区画
(障害者・高齢者・妊産婦など優先)

詳しいお問合せは 福祉課 我如古・岸本 まで ☎49-3160

第25回 伊江島ゆり祭り 規模縮小して開催!



第25回伊江島ゆり祭り実行委員会は4月14日、臨時会議を開き、祭りの規模を縮小して開催することに決定しました。

- ①会場内で予定していた打ち上げ花火やランタンなどのイベントは中止し、花見のみ開催する。
- ②祭り期間中(4/29~5/5)、フェリーは増便せず、通常の4便運航とする。
- ③本部港発の午前9時と11時の2便は乗船定員を350人に制限する。

実行委員会では「村内における新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、フェリーの乗船制限を行い、定員に達した場合は乗船できない場合もあるのでご理解いただきたい」と話しました。

また、本部港内に臨時駐車場を確保していますが、数に限りがあるため、公共交通機関の利用を呼び掛けています。

祭りの情報は村のホームページや村の公式SNS「伊江島タッチゅん」などで確認できます。



軽自動車・原付バイク・農耕用トラクター等をお持ちのみなさまへ

軽自動車税の納め忘れはありませんか?



手元に届いております納税通知書にてお早目に納付ください。

※口座振替の手続きをされた方は、4月21日(木)が振替日です。また、再振替日を5月2日(月)の予定しております。事前に残高のご確認をお願いします。

《納付場所》

伊江村役場 農協 漁協
郵便局 コンビニエンスストア

《納付期限》

令和4年 **5月2日(月)**

村税は、村民のみなさんが安心して暮らしていくための貴重な財源です。納め忘れないように納付しましょう。



詳しいお問合せは 住民課 税務係 ☎49-2316

伊江村 3月の雨量	設置場所			備考	
	ハイビスカス園	伊江島空港	西崎公民館	最高雨量 3月18日 156.5mm	場所 西崎公民館
255.0mm	309.0mm	330.5mm			
総雨量	昨年実績			備考	
	136.5mm	151.5mm	142.0mm	最高雨量 3月7日 39.0mm	場所 西崎公民館

2022 令和4年 5月 いえじま むらのカレンダー



日 Sunday	月 Monday	火 Tuesday	水 Wednesday	木 Thursday	金 Friday	土 Saturday
1 旧4/1 仏滅	2 旧4/2 大安 ・固定資産税第1期 ・民児協定例会	3 旧4/3 赤口 憲法記念日	4 旧4/4 先勝 みどりの日	5 旧4/5 友引 こどもの日	6 旧4/6 先負 ・西江前ミニデイ	7 旧4/7 仏滅
8 旧4/8 大安	9 旧4/9 赤口 ・西崎ミニデイ	10 旧4/10 先勝 ・東江前ミニデイ	11 旧4/11 友引 ・阿良ミニデイ	12 旧4/12 先負 ・こころの健康相談	13 旧4/13 仏滅 ・復帰50周年企画展(29日まで) ・東江上ミニデイ	14 旧4/14 大安
15 旧4/15 赤口	16 旧4/16 先勝	17 旧4/17 友引 ・川平ミニデイ	18 旧4/18 先負 ・西江上ミニデイ	19 旧4/19 仏滅	20 旧4/20 大安 ・西江前ミニデイ	21 旧4/21 赤口
22 旧4/22 先勝	23 旧4/23 友引	24 旧4/24 先負 ・農業委員会総会	25 旧4/25 仏滅 ・阿良ミニデイ ・心配ごと相談	26 旧4/26 赤口 ・2022チャレンジデー	27 旧4/27 赤口 ・子牛共進会 ・真謝ミニデイ	28 旧4/28 先勝 ・第30回やんばる駅伝大会(伊平屋村) ・第28回チャリティなつメロの夕べ
29 旧4/29 友引 ・乳幼児健診	30 旧5/1 大安 ・ゴミゼロクリーン作戦	31 旧5/2 赤口				

新型コロナウイルス発生により、各種イベント・相談等は中止または延期になる場合がありますので、ご了承ください。

満1歳

お誕生日 おめでとう!!



- 性別：男
- 令和3年4月2日生
- 父：山城 孝和さん
- 母：山城 明佳さん
- 行政区：西江上区

山城 丞司 (やましろうじ) くん

山城家のくいしんぼうで
うーまく一次男坊!!
いっぱい食べてお父さんを
越えるBIGな男になってね♥



- 性別：男
- 令和3年4月7日生
- 父：東江 仁さん
- 母：東江 百合恵さん
- 行政区：東江前区

東江 晴 (あがりえはる) くん

いつもニコニコ三男坊
大きく育ってね♥



- 性別：男
- 令和3年4月24日生
- 父：平安山 良さん
- 母：平安山 珠奈さん
- 行政区：阿良区

平安山 瑛叶 (へんざん えいと) くん

笑顔がとっても
可愛いえいと♥
元気にスクスク育ってねっ!!



- 性別：男
- 令和3年3月4日生
- 父：知念 卓さん
- 母：知念 恭子さん
- 行政区：東江上区

知念 海旺 (ちねん かいおう) くん

元気いっぱいのかいおう♥
我が家のアイドル♥大きくなーれ♥

New Face 新人さん紹介 頑張ります!

- ①出身地 ②生年月日(年齢)
- ③趣味・特技



配属先
福祉課

がねこ りょう
我如古 亮
①沖縄市
②平成13年10月25日(20歳)
③バレーボール、映画鑑賞

コメント
社会人1年目で分からないことがたくさんありますが、伊江村や村民の皆様のために貢献できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願ひいたします。



配属先
建設課

かめざと こうや
亀里 光野
①伊江村(川平区)
②平成元年4月30日(32歳)
③いっくわーし

コメント
伊江村のさらなる発展の為、村民のより豊かな暮らしの為にまちづくりに尽力して参ります。宜しくお願い致します。



配属先
住民課

みやぎ けい
宮城 慶
①名護市
②平成13年11月3日(20歳)
③ボウリング

コメント
住民課への配属になりました。1日でも早く仕事を覚え、皆様に貢献できるように頑張ります。また、地域のイベントなど積極的に参加しますので宜しくお願いします。



配属先
教育委員会

な か ま もえ
名嘉真 萌
①本部町
②平成7年8月18日(26歳)
③ゴルフ・バスケットボール

コメント
教育委員会に配属になりました、名嘉真萌と申します。伊江村の為、村民皆様のために貢献できるよう努めていきます。どうぞ宜しくお願い致します。



配属先
公営企業課

ひだか ゆうだい
日高 雄大
①伊江村(西崎区)
②平成8年5月15日(25歳)
③釣り

コメント
村民皆様、来島される方々が安心してフェリーに乗船出来るように、安全運航を心がけ多くの方々の笑顔運べるように頑張りたいと思います。これから宜しくお願いします。



配属先
診療所

さとう りょうへい
佐藤 亮平
①長野県
②昭和59年7月3日(37歳)
③キャンプ・アウトドア

コメント
臨床工学技士として透析患者さんの「心」に寄り添う医療ができるように努めていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



配属先
川平駐在所

おおいし つばさ
大石 翼
①うるま市
②昭和60年7月10日(36歳)
③バスケ・バドミントン

コメント
前任地は宮古島の多良間村という離島地域で勤務していました。伊江島の規模の大きさに驚きつつも、新しい環境での充実した生活を楽しもうと思ひます。見かけたときにはお気軽に声をかけて下さい!!



配属先
伊江駐在所

う ほ ひでまさ
宇保 英政
①八重山
②昭和44年9月7日(52歳)
③三線・笛(安富祖流絃琴会師範)

コメント
伊江島の安全安心を守るため一生懸命がんばります。伝統芸能の盛んな伊江島での勤務を楽しみにしています。気軽に声をかけて下さい。



配属先
沖縄県農業改良普及員

かかず れい
嘉数 怜
①那覇市
②昭和59年11月20日(37歳)
③バスケットボール・ランニング

コメント
県の農業改良普及員として農林水産課に席を置きます。伊江村の農業発展のため頑張りますので宜しくお願いします。